

政策の名称	ワールドカップ等重大特異事案対策（NBC事案対策の強化）
政策の内容・目的	<p>現在、警視庁及び大阪府警察に設置されているNBC専門部隊を、大規模主要道県に新設し、それに伴うNBC対策装備資機材・車両の整備を図り、NBC事案への対処能力を強化することによる、市民の安全確保及び公共の安全と秩序の維持を目的とする。</p>
必要性	<p>核物質（Nuclear）・生物剤（Biological）・化学剤（Chemical）を使用したいわゆるNBCテロは、その甚大な殺傷能力等により、テロの手段としては極めて有効とみなされており、その対処には高度な知識と専門的な装備が必要となる。</p> <p>また、平成7年の地下鉄サリン事件の発生により、テロリスト側が心理的な一線（道徳的自制）を越えたと考えられているが、これら兵器の世界的拡散の深刻化も相まって、NBCテロが各国において重大な脅威と認識されている。</p> <p>国内においても、前述の地下鉄サリン事件や茨城県における臨界事故等、NBC物質によるテロ・災害事案が発生している状況にある。</p> <p>政府（内閣官房（旧内閣安全保障・危機管理室））としても、ここ数年来、省庁横断的な体制作りを進めており、昨年8月には「NBCテロ対策会議」（局長級会合）を設置し、政府全体としてNBC事案対策を強力に推進するために、各種検討を行っているところである。</p> <p>一方、その中核構成員である警察庁では、適切な初動措置を講じる責務から、平成6・7・11年度に防護服、検知器等の装備資機材及び車両を整備するなど体制の強化を推進し、現在、NBC専門部隊を警視庁及び大阪府警察に設置して、各種事案発生時に目覚ましい成果を上げているところである（別紙）。</p> <p>NBC事案対処は、NBC物質の飛散により、短時間で大量かつ広範囲の人を死に至らしめることが可能であること、当該物質が目に見えないことから、所要の装備資機材を着装した専門部隊を投入し、汚染物質及び汚染範囲の特定を一刻も早く行い、除染、救出救助、避難誘導等事案鎮圧及び被害拡大防止、更にはパニック防止等迅速な警察措置が要求されるという特殊性を有している。</p> <p>ところが、警視庁、大阪府警察の他の道府県警察には専門部隊が設置されておらず、未設置道県においてNBC事案が発生した後にこれを特別派遣するのでは、迅速、的確なNBC事案対処が非常に困難であるのが現状である。</p> <p>したがって、大規模道県警察へのNBC専門部隊の新設、それに伴う装備資機材・車両の整備を早期に実施し、NBC事案発生時の対処体制の強化を図る必要がある。</p>
達成効果等	<p>事案の鎮圧、被害拡大防止等迅速的確な初動対処による市民の安全確保及び公共の安全と秩序の維持</p> <p>警察官の受傷事故防止</p>

予 算 額	平成14年度要求・要望額 302百万円		
効 率 性	<p>N B C 事案対処には、高度な知識及び専門の資機材が必要であり、他の装備資機材等の代替的手段はない。</p> <p>N B C 対策は政府全体として取り組んでいるもので、まさに公益性を有する国の事業であり、かかる事業を外部委託等により行うことは不可である。</p>		
そ の 他	本年度から3カ年で、主要府県に設置する計画である。		
政策所管課	警備課	政策評価実施時期	平成13年8月

N B C テロ対策部隊活動状況

1 警視庁N B C テロ捜査隊～平成12年4月19日発足 出動件数14件（平成13年8月8日現在）

[主な取扱事案]

モナザイト事件（平成12年6月6日）

文部省（現文部科学省）等に対し、「放射性物質につき危険」と記載された物質（後にモナザイトと判明）が送付されてきた事件。

モナザイトの放射線測定を実施。

日本橋郵便局における小包内化学薬品異臭事案（平成12年9月11日）

同郵便局において、局員が小包を搬送中、中から液体が漏れて白煙があがって異臭が発生し、局員数十人が目の痛み、吐き気等の症状を訴え、病院に搬送等された事案。

現場臨場し、ガス検知器で高濃度の有機塩素系の物質を検知。

旭屋書店渋谷店における異臭事案（平成12年12月9日）

同書店の書籍売場において、客・従業員らが急に喉の痛みを訴えた事案。

現場臨場し、検知活動を実施。（何らかの薬品によるいたずらの可能性。）

東急ハンズ渋谷店内における異臭事案（平成13年4月21日）

同店2階で異臭が発生し、買い物客・従業員らが喉の痛み、咳き込みの症状を訴え、一部が病院に搬送された事案。

現場臨場し、検知活動を実施。（催涙スプレーによるいたずらの可能性。）

新宿マイシティ地下街における異臭事案（平成13年7月2日）

地下街及びその周辺において、客・従業員らが喉の痛み、咳き込みの症状を訴え、病院に搬送された事案。

現場臨場し、検知活動を実施。（催涙スプレーによるいたずらの可能性。）

2 大阪府警N B C 初動措置隊～平成12年6月29日発足 出動件数10件（平成13年8月8日現在）

[主な取扱事案]

J R 高槻駅における放射性物質散布事案（平成12年12月20日）

同駅2階改札口前において、J T 職員が勤務先から放射性物質を持ち出し、散布した事案。

現場臨場し、検知活動を実施した結果、ごく微量の放射線を検知。

堺市内国道上における放射性物質放置容疑事案

歩道上に、「放射性物質」と記載のある火災報知器が放置されていた事案。

現場臨場し、検知活動を実施。